

# OB 会通信

2012年度 第三号  
大阪府立大学 陸上競技部

拝啓

長く続いた残暑も一転、立冬らしい肌寒い季節となりました。OB・OGの皆様はいかがお過ごしでしょうか。私たち陸上部員もシーズンの主な試合をほぼ終え、心機一転、各々志を持って冬季練習に励んでおります。

今回は、9月20日に行われた六公立戦、29日に行われた関西学生女子駅伝、10月7日に行われたびわ湖駅伝予選会、23～26日に行われた関西個人選手権を中心に報告させていただきます。

敬具



六公立戦優勝時の集合写真

# 目次

## 1. 主将あいさつ

## 2. 主要試合結果報告

第 43 回関西六公立学生競技大会

第 22 回関西学生対校女子駅伝競走大会

びわ湖大学駅伝 兼

第 74 回関西学生対校駅伝競走大会予選会

関西学生陸上競技個人選手権大会 兼

第 34 回関西学生混成選手権大会

## 3. その他の試合の結果

## 4. 今後の目標と反省

## 5. 連絡事項

# 1. 主将あいさつ

今回のOB通信では関西学生陸上競技個人選手権大会までに行われたことについてご報告させていただきます。

まず、8月中旬に長距離パートは新潟県妙高で、短距離・フィールド・中距離パートは富山県小矢部で夏合宿をそれぞれ行いました。合宿ということもあり、普段に比べ練習量も増え、辛い場面もありましたが、皆で励ましあいながらしっかり追い込むことが出来ました。また、座談会も開き、これからの府大陸上部をどうしていくかを話し合うなど充実した四日間を過ごすことが出来ました。

9月には関西六公立大学総合競技大会、関西学生対校女子駅伝がありました。六公立戦は京都府立大学、兵庫県立大学にかなりの差をつけて総合優勝することが出来ました。これも一人一人が夏の練習の成果をきちんと発揮した結果だと思います。この勢いのまま来年以降も勝ち続けて欲しいと思います。

関西女子駅伝は、今回は府大単独チームとしての出場はかなわず、神戸大学、大阪市立大学、大阪府立大学の合同チームでの参加となりました。しかし、その中でもしっかり走りぬき、無事襷が渡りました。

10月の初旬にびわ湖駅伝予選会が行われました。予選会では10人中7人が自己ベストを出す会心のレースでした。今後、この予選会がどのような形で開催されるかはまだ発表されていませんが、1、2回生が中心となる若いチームなので、この悔しさをバネに来年も挑戦してもらいたいと思います。

そして10月下旬には関西個人選手権が行われました。今年から関西学年別選手権から学年の枠が取り払われた関西個人選手権へ変更されました。初日は天気はかなり荒れましたが、後の3日は天気も回復し、競技を行いやすい天候になりました。結果を残せた選手、悔しい思いをした選手様々でした。一回生にとっては初めての大きな試合なので、この試合での経験を来シーズンにつなげてもらいたいと思います。

12月には幹部交代式もあり新体制になりますが、部員一同これからも精進していきますので、今後ともご声援よろしく申し上げます。

**主将 前山龍平(3)**

## 2. 主要試合結果報告

☆は自己ベスト ★は大学ベスト

### 第43回関西六公立学生競技大会

9月20日(木) ベイコム陸上競技場

今年も昨年と同様、男女共に対校の部が行われました。夏合宿後初の対校戦だけあって、部員は皆、成果を発揮すべく果敢に挑み、府大の力を見せつけました。

#### ポイントの部

##### 男子100m

- |                |        |                |        |
|----------------|--------|----------------|--------|
| 1. 前山 龍平(大府大)  | 11" 03 | 2. 内賀嶋陽史(大府大)  | 11" 08 |
| 3. 上坂 知弥(兵庫県大) | 11" 28 | 4. 下條 尊史(兵庫県大) | 11" 37 |
| 5. 有山 歩(京府大)   | 11" 83 | 6. 小林 靖幸(京府大)  | 13" 04 |

**大府大 11点 兵庫県大 7点 京府大 3点**

100m男子には前山(3)と内賀嶋(3)が出場し、スタートでは前山が先手を取りリードを奪う。中盤に入ると内賀嶋が追い上げを見せるが、前山に一步届かず2着。前山は中盤から後半も減速することなく見事1着に入った。

文責 川越俊幸(2)

##### 男子400m

- |                |        |               |        |
|----------------|--------|---------------|--------|
| 1. 高田 昌人(大府大)  | 49" 87 | 2. 松本 和也(大府大) | 51" 66 |
| 3. 白羽 純也(兵庫県大) | 51" 90 | 4. 有山 歩(京府大)  | 52" 32 |
| 5. 日下部昂志(兵庫県大) | 52" 72 | 6. 川本 有亮(京府大) | 58" 58 |

**大府大 11点 兵庫県大 6点 京府大 4点**

序盤から府大の二人がリードをし、幸先の良いスタートを切った。高田(1)は着々と差を広げ、そのまま1着でゴール。松本(M2)は終盤に3位の選手に差を縮められるも逃げ切り結果2位であった。見るものを安心させる展開で、府大勢の強さを存分に他校に見せつけるレースとなった。

文責 高尾信成(2)

## 男子1500m

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 長島 俊泰(兵県大) 4' 04" 54 | 2. 田中 裕久(兵県大) 4' 10" 05 |
| 3. 西川 亮 (大府大) 4' 11" 69 | 4. 伊藤 駿 (大府大) 4' 15" 16 |
| 5. 小林 靖幸(京府大) 4' 22" 89 | 6. 藤井 廉 (京府大) 4' 30" 76 |

**大府大 7点 兵県大 11点 京府大 3点**

1周目から兵庫の選手が飛び出し、他を大きく引き離すレースとなった。西川(1)はコンスタントにペースを保ち第2集団を引っ張り、ラスト1周で持ち前のスパートをみせつけた。伊藤(1)は序盤少し飛ばしすぎたため終盤まで体力が続かず、ラストにあまり上げることができなかった。兵庫の力を見せつけられる試合となったが、2人共まだまだ伸びしろのある1回生なので今後の成長に期待したい。

文責 小槻日出夫(2)

## 男子5000m

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 松本 一樹(兵県大) 15' 02" 05 | 2. 胸永 拓也(兵県大) 15' 30" 33 |
| 3. 北川 拓哉(大府大) 15' 31" 51 | 4. 小槻日出夫(大府大) 16' 19" 25 |
| 5. 佐藤 優穂(京府大) 16' 28" 98 | 6. 藤井 廉 (京府大) 16' 40" 49 |

**大府大 7点 兵県大 11点 京府大 3点**

序盤から三人三人の集団に割れ、北川(M1)、小槻(2)はそれぞれ第1、第2集団の後尾にいた。北川は、中盤から1位の選手が独走するも冷静に2位の選手にぴったりとつき、最後まで食らいつくが抜かすには至らず、悔しくも3位に終わった。小槻はラスト1000mであとの二人を一気に抜きどんどん引き離し、大差をつけての堂々の4着となった。

文責 高尾信成(2)

## スウェーデンR

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 大阪府立大学(早川-中野智-松本-高田) 1' 59" 70 |
| 2. 兵庫県立大学(河本-太田-小林慶-中原) 2' 04" 90 |
| 3. 京都府立大学(高木-小林靖-河本-有山) 2' 14" 81 |

**大府大 6点 兵県大 3点 京府大 0点**

1走早川(2)はスタートから調子がよく、後半まで良い流れのまま1位で内賀嶋(3)へバトンをつないだ。内賀嶋は後半から伸びを見せる走りでも後ろ2校との差を広げ、松本(M2)は400mでの疲労により少し動きに硬さがあつたが、トップのまま4走の高田(1)へ。高田は疲労を感じさせない走りを見せ、ラストスパートで差を広げ、始終トップを譲らないままのゴールとなった。

文責 遠藤耀司(2)

## 男子走幅跳

1. 山中 敬雄(大府大) 7m05
2. 大黒 貴弘(大府大) 6m92
3. 上坂 知弥(兵県大) 6m42
4. 染分 克麻(兵県大) 5m93
5. 川本 有亮(京府大) 4m29
6. 清水 紀彦(京府大) 4m07

**大府大 11点 兵県大 7点 京府大 3点**

山中(4)は7mを超える跳躍をし、見事優勝を果たした。大黒(2)は自己ベストに近い跳躍をして2位となり、この競技でワンツーフィニッシュを果たし、府大の総合優勝に貢献した。共に好記録であり個人選手権での活躍も期待したい。

文責 早川哲史(2)



跳躍をする大黒(2)と応援する府大メンバー

## 男子走高跳

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 田中 英和(大府大) 2m05 | 2. 渡部 翔太(大府大) 1m90 |
| 3. 川井 夢人(兵県大) 1m80 | 4. 上坂 知弥(兵県大) 1m60 |
| 5. 小林 靖幸(京府大) 1m55 | 6. 清水 紀彦(京府大) NM   |

**大府大 11点 兵県大 7点 京府大 3点**

田中(3)、渡部(4)の両名とも不調ながら堂々のワンツーフイニッシュを決めた。特に田中は先に行われた走り幅跳びのオープンに出場した疲れが残っていたが、サブベストである2m05を一発で成功させた。ただ、本人にとっては納得のいく結果ではなかったもので、関西学生個人でその雪辱を果たしてほしい。

文責 北川直昭(2)

## 男子砲丸投

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 西野 駿作(大府大) 12m44 | 2. 奥野 照基(大府大) 10m33 |
| 3. 小原 広暉(兵県大) 10m32 | 4. 平賀舜太郎(京府大) 10m28 |
| 5. 米田 知生(兵県大) 9m37  | 6. 清水 紀彦(京府大) 9m15  |

**大府大 11点 兵県大 6点 京府大 4点**

男子砲丸投げには西野(4)と奥野(3)が出場した。西野は公務員試験明けであり練習期間が短かったが、府大記録保持者としての底力から12mオーバーの投擲を見せ、見事圧倒的1位となった。奥野は10mオーバーの自己ベストに迫る投擲を見せ2位をもぎ取った。本人たちの宣言通り府大でワンツーフイニッシュをとり、府大の勝利に大きく貢献した。

文責 中野友揮(2)

## 男子やり投

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 大黒 貴弘(大府大) 46m70 | 2. 奥野 良介(兵県大) 42m92 |
| 3. 山口 祐太(大府大) 41m92 | 4. 小倉 裕平(兵県大) 31m28 |
| 5. 平賀舜太郎(京府大) 28m95 | 6. 清水 紀彦(京府大) 22m46 |

**大府大 10点 兵県大 8点 京府大 3点**

やり投げには専門の選手がいないため、跳躍パートの大黒(2)と十種競技の山口(1)が出場した。大黒は自己ベストには届かなかったものの、安定した投擲を見せ、1位となった。ワンツーフイニッシュとはならなかったものの、山口も3位となる投擲を見せ、府大の勝利に貢献した。

文責 仲西穂高(2)

## 女子100m

1. 青木 洋美(京府大) 13" 32
2. 藤田 風花(京府大) 13" 56
3. 星合 里香(大府大) 13" 72
4. 駒井 美咲(兵県大) 14" 32
5. 難波 真理(大府大) 14" 50
6. 木崎 菜摘(兵県大) 16" 30

**大府大 6点 兵県大 4点 京府大 11点**

100m女子には星合(1)、難波(1)が出場した。星合は自分の専門ではなかったが良いスタートを見せ、前半レースに食らいつく。しかし後半、星合、難波共に失速し星合は3着、難波は5着と悔しい結果に終わった。

文責 川越俊幸(2)

## 女子1500m

1. 山田 知佳(兵県大) 5' 02" 48
2. 伊藤ありさ(兵県大) 5' 04" 53
3. 庵原 瑞穂(京府大) 5' 05" 05
4. 三須 麻里絵(京府大) 5' 24" 35
5. 関岡由希子(大府大) 5' 29" 32
6. 西村実希子(大府大) 5' 29" 67

**大府大 3点 兵県大 11点 京府大 7点**

関岡(4)は前の選手についていき800m通過後ペースを上げ始める。しかし、その後ペースを保てず減速してしまう。西村(4)は研究室で忙しいなか、空き時間に自主練を積んでの出場となった。1000m付近まで良いペースで走れていたが、そこから集団がペースを上げ始め、置いていかれてしまう。ラストスパートでは持ち直すもやや悔いの残る試合となった。この悔しさをバネにして女子駅伝では満足のいく結果を残してもらいたい。

文責 小槻日出夫(2)

## 総合結果

	大阪府立大学	兵庫県立大学	京都府立大学
男子トラック合計	42	38	13
男子トラック順位	1	2	3
男子フィールド合計	43	28	13
男子フィールド順位	1	2	3
女子得点	9	15	18
女子順位	3	2	1
総合得点	94	81	44
総合順位	1	2	3

大阪府立大学 総合優勝



## オープンの部

### 100m

倉本惇嗣(1)	11" 58
嶋田祥久(1)	11" 69
藤原吉司(1)	11" 74
檜本涼(2)	12" 33
仲西穂高(2)	11" 84
中野友揮(2)	11" 88
早川哲史(2)	11" 42
高原裕樹(3)	12" 01
野本健太(3)	11" 52

### 400m

藤原吉司(1)	54" 68
川越俊幸(2)	51" 88
中野友揮(2)	53" 03
小川潤(3)	52" 61
神農伸治(3)	59" 46

### 走幅跳

前田玲実(1)	3m75
野本健太(3)	6m35
仲西穂高(2)	5m75
田中英和(3)	6m26
保科政幸(3)	5m96
矢野達哉(3)	6m33

### 1500m

北側空良(1)	4' 46" 85
村上将悟(1)	4' 13" 30

### 走高跳

山口裕太(1)	1m80
片岡裕(1)	1m85
山中敬雄(4)	1m75

## やり投げ

星合里香(1) 29m11

## 1500m

佐原敏基(3) 4' 15" 75☆

北川直昭(2) 4' 30" 33

大松達也(1) 4' 48" 18

野々口諒一(M2) 4' 19" 21

## 5000m

佐原敏基(3) 16' 53" 30☆

赤坂柁典(4) 17' 13" 36

甲木孝弘(4) 15' 55" 67

野々口諒一(M2) 16' 09" 48

勝巳涼一(1) 17' 55" 45

遠藤耀司(2) 17' 10" 84

北川直昭(2) 16' 24" 63

高尾信成(2) 17' 29" 90

## スウェーデンRオープン

矢野(3)－村上(1)－川越(2)－伊藤(1) 2' 06" 17

大黒(2)－中野(2)－檜本(2)－仲西(2) 2' 08" 80

前田(1)－星合(1)－難波(1)－関岡(4) 2' 40" 36

山口(1)－藤原(1)－倉本(1)－嶋田(1) 2' 10" 70

片岡(1)－勝見(1)－神農(3)－西野(4) 2' 39" 77

遠藤(2)－北川(2)－小槻(2)－高尾(2) 2' 31" 97

甲木(4)－甲木(4)－甲木(4)－甲木(4) 2' 44" 11

《応援・競技参加にお越し頂いたOBの皆様》

木下さん、野々口さん、松本さん、北川さん

お忙しい中、ありがとうございました。

# 第22回関西学生対校女子駅伝競走大会

9月29日(土) 神戸しあわせの村

今年は、大阪府立大学の単独での出場は叶わず、大阪市立大学、神戸大学との合同チームによるオープン参加となりました。それでもこの日のために練習に励んできました。

## 総合結果

府市神大 1時間59分40秒 OPN(23位/25位)

## 個人結果

第1区(3.9km)	平野 真由子(3)	[市大]	14' 35
第2区(3.3km)	高石 真紀(2)	[市大]	13' 23
第3区(6.5km)	秋山 穂乃果(1)	[神大]	24' 19
第4区(6.5km)	西田 侑以(2)	[市大]	26' 07
第5区(3.3km)	伊藤 愛慧(3)	[市大]	14' 17
第6区(6.5km)	西村 実希子(4)	[府大]	26' 59

府大からの唯一の走者として西村(4)が6区を務めた。襷をしっかりと受け取り、前半一周はひどくばてることなく足を運んでいた。後半になって疲れが見え始めたが、周囲の応援に応えるがごとく力を振り絞って走り切った。他大学との合同チームとはいえ、襷を最後まで繋げることができたことに、本人・チーム一同共に感極まり、女子中長距離ここにありということを見せつける結果となった。

文責 高尾信成(2)



第6区を務めた西村(4)〈手前〉

《応援にお越し頂いたOBの皆様》  
野々口さん、北川さん  
お忙しい中ありがとうございました。

# びわ湖大学駅伝 兼

## 第74回関西学生対校駅伝競走大会 予選会

10月7日(日) 皇子山陸上競技場

今年は、シード枠が2校減ったため、全20校で行われ、上位8名の10000mの合計タイムで競い合いました。組数も1つ増え7組の白熱したレースが展開されました。今年も大勢のOB・OGの方々が応援に駆け付けていただきました。遠いところまで足を運んでいただきましてありがとうございました。肌寒くはあったものの天候には恵まれ、各々鍛錬の成果を発揮し、メンバー10名のうち7名が自己ベストを更新しました。しかし、残念ながら年々レベルが高くなる戦いの中、予選突破は叶いませんでした。ただし、府大長距離の底力を確実に垣間見ることはでき、この経験を生かして来年に向けてより一層心血を注いでいきますので、今後ともよろしく願いいたします。

### 総合結果

14位/20位 大阪府立大学 4時間30分09秒88

### 個人結果

#### 第1組

小槻 日出夫(2) 34' 21" 49☆

第1組には小槻(2)が出場した。六公立戦において自己ベストを更新しており、調子はよく、前半はしっかりと先頭集団に喰らいつき、良いペースで走る。中盤に入ると先頭のペースが上がり、徐々に離されていったが、後半はあまり失速をすることなく粘り、見事自己ベストを更新した。

文責 川越俊幸(2)

#### 第2組

高尾 信成(2) 36' 08" 27☆

第2組は高尾(2)が出場した。序盤は集団について行き、ペースを保っていたが、中盤で失速した。しかし、中盤から後半にかけては、冷静に一定のペースで粘りつつ、徐々に順位をあげていった。結果は前年度よりも1分30秒以上更新し、見事自己ベストを叩き出した。来年の活躍にも期待したい。

文責 仲西穂高(2)

### 第3組

西川 亮(1) 34' 19" 32☆

村上 将悟(1) 33' 49" 50☆

3組には西川(1)と村上(1)の一回生コンビが出場した。3000m過ぎから村上は集団についていき、西川は少し離れた位置で走る展開になった。村上は根性の走りを見せ、自己ベストを大きく上回る結果を残した。西川も後半から徐々に順位を上げていき見事自己ベストでゴールした。この両選手は将来の府大の長距離を引っ張っていく存在なので、これからの活躍を期待したい。

文責 中野友揮(2)



第3組を走る村上(1)〈左から4人目〉と西川(1)〈左から5人目〉

### 第4組

北川 直昭(2) 33' 35" 45☆

4組目に出場した北川(2)は、序盤から積極的に攻めていき、先頭集団にくらいついていった。中盤に先頭集団から離された際、大きくペースを落としはしたものの、それ以降は自分のペースを守ってしっかりと最後まで走り抜き、自己ベストを3分以上更新する結果となった。

文責 樫本涼(2)

## 第5組

野々口 諒一(M2) 33' 39" 39

甲木 孝弘(4) 32' 45" 32

日が落ち始め気温がぐっと下がり、肌寒さを感じ始める頃、第5組の甲木(4)と野々口(M2)がスタートした。レース序盤、二人は先頭集団後方に付いて走り、3000mを過ぎたあたりで離され始め、5000mまでは野々口が第二集団を引っ張り、甲木がそれを追う形に。5000m中盤で甲木は野々口を追い抜くと、時折苦しい表情を見せながらもペースを乱すことなく最後まで走りぬき、この組までで府大勢初の32分台を記録した。野々口は持ち味のストライドの大きい安定した走りを見せ、極端にペースを落とすことなく後半5000mを走り切った。両者共にベスト更新とはならなかったが、後輩達に先輩の意地を見せるレースとなった。

文責 大黒貴弘(2)

## 第6組

北川 拓哉(M1) 31' 53" 32☆

北川(M1)は第6組に出場した。ハイペースな試合展開だったものの序盤から積極的に先頭集団について行った。中盤までついていけていたのだが、後半では先頭集団から離されてしまった。しかし、最後まで力強く走り続けた結果、見事自己ベストを更新しエースの力を見せつけた。

文責 早川哲史(2)

## 第7組

山下 翔平(4) 38' 12" 83

遠藤 耀司(2) 35' 46" 09☆

各校のエースが集まる7組には山下(4)と遠藤(2)が出場した。序盤からハイペースな試合であり、遠藤・山下共に集団から大きく離されてしまう厳しい試合展開であった。しかし、個々のペースを守り、山下は怪我であまり練習を積めていなかったが最後まで走り切り、遠藤は自己ベストをたたき出した。

文責 宝徳奈津美(2)

《応援・競技参加にお越し頂いたOB・OGの皆様》

木下さん、岡本さん、逢坂さん、野々口さん、林さん、藤原さん、大林さん、谷口さん、大石さん、小川さん、大継さん、北川さん、武田さん、中田さん、中村さん

遠いところお越しいただき、ありがとうございました。

# 関西学生陸上競技個人選手権大会

## 兼 第34回関西学生混成選手権大会

10月23～26日 長居第2陸上競技場

シーズンを締めくくる大きな試合だけに、各個人が強い思いを胸に自分の限界に挑戦しました。

### 男子100m

倉本惇嗣(1)	一次予選	12" 08(-0.1)	8着
早川哲史(2)	一次予選	11" 39(-0.2)	4着
内賀嶋陽史(3)	一次予選	DNS	
前山龍平(3)	一次予選	11" 31(-0.3)	3着
	二次予選	11" 39(-1.9)	5着

内賀嶋(3)は110mH に万全を期すため棄権した。倉本(1)はややスタートで遅れ、挽回を狙うが体が硬く、8着という結果に終わった。場数を踏んでこれからの成長に期待したい。早川(2)はまずまずのスタートを切り順調な走りを見せ4着。しかし、二次予選進出まで0.05秒届かないという悔しい結果に終わった。前山(3)はスタートで遅れをとるが粘って3着となり、見事二次予選に進出した。二次予選ではいいスタートを切れたものの5着に終わり、本人の満足いく結果は出せなかったようである。

文責 高尾信成(2)

### 男子200m

嶋田祥久(1)	予選	23" 94(+0.5)	6着
中野智典(4)	予選	22" 64(-1.3)	5着

中野(4)は100mまでほかの選手と競るいい走りを見せていたが、後半で疲れが出てしまい自己ベストからは少し離れた結果となってしまった。嶋田(1)はスタートで出遅れてしまい後半から持ち味のスピードで追いかけるが、本来の能力を出し切ることはできなかった。

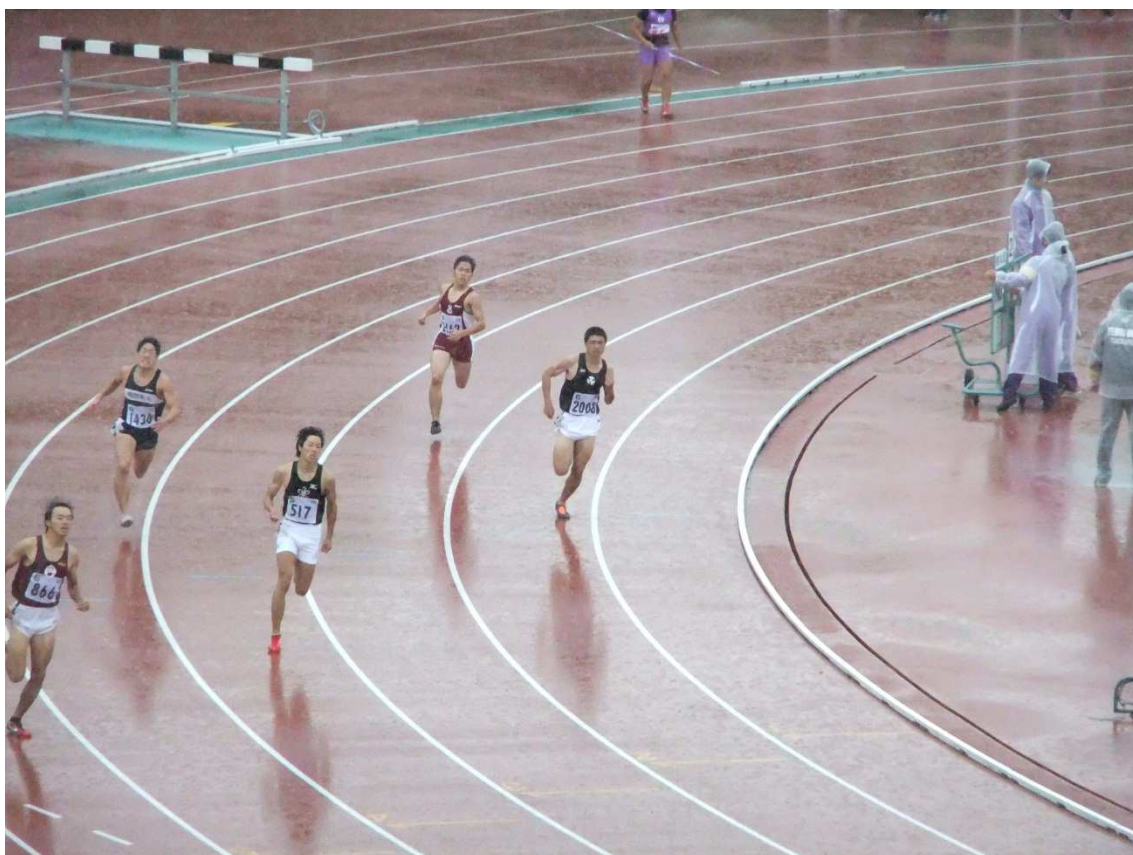
文責 遠藤耀司(2)

## 男子400m

高田昌人(1)	予選	50" 35	4着
藤原吉司(1)	予選	55" 82	6着
中野智典(4)	予選	51" 72	4着
松本和也(M2)	DNS		

松本(M2)は怪我のため欠場した。中野(4)は悪天候と寒さのためか、普段の練習で見せる姿とは違い、キレがない走りとなってしまった。本人も学生最後の試合と意気込んでいたため、とても残念そうであった。高田(1)は、49秒台は出なかったが50秒前半でまとめ、安定感のある走りだった。短長エースとして来シーズンに期待したい。藤原(1)は前半スピードに乗れず、前を走る選手に離されてしまい、ベスト更新とはならなかった。

文責 中野友揮(2)



大雨の中400mを走る高田(1)〈2レーン〉



## 男子800m

伊藤駿(1)	予選	2' 15" 38	8着
中野友揮(2)	予選	1' 59" 74	4着
甲木孝弘(4)	予選	1' 58" 47	4着

伊藤(1)は今シーズン、自己ベストに近いタイムが出続けており、自己ベストの更新に期待のかかるレースとなった。1周目から積極的に前に出て勝負を仕掛ける。しかし、2周目に大きく減速してしまい、自己ベストにはほど遠い結果に終わってしまった。同じ組で走った甲木(4)は前半やや後ろのほうにつく。2周目から徐々に前に出て行きラストスパートをかけ、4着でゴールした。中野(2)は最近の調子の良さから良い走りが期待された。最初の1周は余裕を持って通過したが、後半はスパートをかけた集団に離され、自己ベストの更新には至らなかった。今回中距離勢は結果が振るわなかったが、この悔しさをばねに冬季練習でしっかり追い込んで、来シーズンでの活躍を期待したい。

文責 小槻日出夫(2)

## 男子1500m

北側空良(1)	予選	4' 29" 53	12着
西川亮(1)	予選	4' 10" 18☆	9着
大松達也(1)	予選	4' 50" 06	16着
二本松立朗(1)	予選	4' 39" 94	14着
村上将悟(1)	予選	4' 19" 66	11着
甲木孝弘(4)	予選	4' 06" 51	5着

北側(1)は初めから自分のペースを刻み、4分30秒を切るという目標をスマートに達成した。西川(1)は先頭集団に食らいつき、中盤若干ペースが落ちるもラストに巻き返し、惜しくも目標の4分10秒を切れなかったものの自己ベストをマークした。大松(1)は初めから自分のペースでいくも、怪我明けということもあってか残念ながら維持することはできなかった。二本松(1)は1000m 近くまで大松についていき、その後振り切ってゴール。入部したてでブランクがあつての成績だけにこれからの活躍に期待したい。村上(1)は積極的に集団についていくが、中盤から疲れが見え始め、満足する結果は残せなかった。甲木(4)は序盤から集団につき、中盤にやや離れるもラストに追い上げ5着であった。決勝進出は果たせなかったが、その底力を見せつけた。

文責 高尾信成(2)

## 男子5000m

勝見涼一(1) 予選 17' 47" 01☆ 総合66位

個人選手権の最終日にただ一人出場することになった勝見(1)は、試合前から明らかに分かるように緊張したままのスタートとなった。前半は集団のペースに流され、予定よりも早いペースでの入りとなってしまったが、後半では粘りのある走りを見せ、普段の練習からはまずまずの結果となった。陸上を始めたばかりで、試合数も少ないので、冬季ではしっかりと場数を踏んでほしい。

文責 北川直昭(2)

## 男子110mH

内賀嶋陽史(3) 予選 14" 83(+1.1) 3着  
B決勝14" 72(+0.2) 4着

110mH 唯一の出場となった内賀嶋(3)は、予選ではいいスタートを切った。速い選手が集まる中、粘って3着となり、見事B決勝に進出した。B決勝ではハードルとの接触も少なく、安定した走りを見せ、4着という好記録を残した。

文責 高尾信成(2)



予選で一つ目のハードルを越える内賀嶋(3) (左から2人目)

## 男子400mH

山口裕太(1)	予選 55" 96★	5着 歴代4位
川越俊幸(2)	予選 55" 89☆	6着 歴代3位
小川潤(3)	予選 DSQ	

山口(1)は序盤から安定したハードリングを見せ、同じ組に走る実力のある選手に食らいついて走り、見事大学ベストを出した。また、同じ組で走った小川(3)は前半から積極的に攻めた走りをしていて、最後のハードルで足が合わず、手でハードルを倒してしまい記録が残らないという悔しい結果となった。川越(2)は試合前から綿密な調整を行い、試合でも粘り強い走りを見せ、自己ベストを更新した。三選手それぞれが、課題を見つけることが出来た試合だったので、冬季の間に克服し、来シーズンの飛躍に期待したい。

文責 早川哲史(2)

## 男子3000mSC

北川拓哉(M1) 予選 9' 30" 37 総合4位

北川(M1)は、表彰台を狙う意気込みで出場した今回の試合、1000m付近で集団がばらけ始めるが、第2集団にしっかりついていった。残り800mでペースを上げ始め第2集団を飛び出し、最後の水濠をこえてラストスパートを駆けゴールした。結果としては惜しくも4位と表彰台には届かなかったが、今回の悔しさをバネに来年も再び走りたいと語っており、来シーズンへの意欲をかきたてる試合となったようだ。

文責 小槻日出夫(2)

## 男子4×100mR

A チーム 前山(3)-内賀嶋(3)-中野(4)-渡部(4)

予選 42" 41 3着 歴代4位

B チーム 倉本(1)-保科(3)-小川(3)-嶋田(1)

予選 DNF (オーバーゾーン:3走→4走)

Bチームは、1走の倉本(1)が軽快なスタートを切り、その勢いのまま2走の保科(3)、3走の小川(3)とバトンを繋いだ。小川と4走の嶋田(1)との間のバトンパスに失敗してバトンを落としてしまい、悔しい結果となった。

Aチームは、1走の前山(3)が好調な滑り出しを見せ、それに続く内賀嶋(3)、中野(4)、渡部(4)も、バトンパスこそ完璧とはいえなかったものの、素晴らしい走りを見せて好記録を叩き出した。府大歴代でも4位に入る好記録ではあったが、目標は歴代新記録を出すことであっただけに、やや不満の残る結果であった。

文責 榎本涼(2)

## 男子4×400mR

A チーム 中野(4)-山中(4)-伊藤(1)-高田(1)

予選 3' 19" 14 4着 歴代3位

B チーム 小川(3)-山口(1)-樫本(2)-藤原(1)

予選 3' 33" 58 7着

B チームでは、1走の小川(3)で若干の遅れが見え、2走の山口(1)にバトンが渡った時点で6位であった。次いで3走の樫本(2)と順位をキープしたが、4走の藤原(1)が最後に粘るも抜かれて、0.02秒差で惜しくも7着となった。全体のタイムとして目標には届かなかったが、皆楽しめた、いい雰囲気味わえたと言語。これからも頑張ってもらいたい。

A チームでは、1走の中野(4)が速いメンバーの中、遅れることなく2走の山中(4)につなぎ、4位をキープ。3走の伊藤(1)はタイムとしては良かったものの3位の選手とはやや差が開き、4走の高田(1)は追いつけなかったものの、5位の選手を完全に引き離し、4着でゴール。府大としては歴代3位という好成績を叩き出した。

文責 高尾信成(2)

## 男子走高跳

片岡裕(1) 1m85 27位

山口裕太(1) 1m80 26位

田中英和(3) 2m00 4位

渡部翔太(4) 1m95 12位

片岡(1)は自己ベストとなる公認記録を見事叩き出し、今シーズンの締めとなる良い跳躍を見せた。また、山口(1)は400mH のすぐ後ということもあり、疲労の残る中での競技であったため、動きが硬く満足のいく跳躍とはならなかった。田中(3)は万全の体調での跳躍であったが、緊張のためからか思うように体が動かず、本人も悔しさをにじませていた。渡部(4)はかなり調子が良かったものの、自己ベストタイの記録となり、目標としていた2m00には届かなかった。

文責 仲西穂高(2)

## 男子走幅跳

大黒貴弘(2) NM

野本健太(3) 6m01(-0.5) 44位

山中敬雄(4) 6m72(-1.3) 15位

野本(3)は3回の跳躍をファールなくこなしたが、自分の納得のいく記録は出せなかった。ただ全力を注ぎこむことはできたと語る。大黒(2)は7mを超えるという強い意気込みで臨むが、3回ともファールしてしまい、記録を残すことができなかった。地方の大会では好記録をマークしており、実力があるだけに悔しい結果となった。山中(4)は2回のファールを出してしまい、記録としても満足できるものではなかったが、大学生活最後の試合として楽しむことができたと言語。

文責 高尾信成(2)

## 男子三段跳

矢野達哉(3) 14m06(+1.9) 15位

山中敬雄(4) 14m59(+0.8) 7位

矢野(3)は、夏頃の足の怪我もあり、跳躍が少し心配されたが、1本目で難なく14m台に乗せた。しかし、その後は振るわず念願の自己ベストとはならなかった。山中(4)は、強い追い風により踏切に苦しむ他の選手を差し置いて14m半の記録をきっちり残し、ベストエイトに進出した。4、5本目はファールするも、6本目でこの日一番の14m59を跳んだ。惜しくも自己ベストとはならなかったが、6本跳べた事に本人は満足そうであった。

文責 大黒貴弘(2)

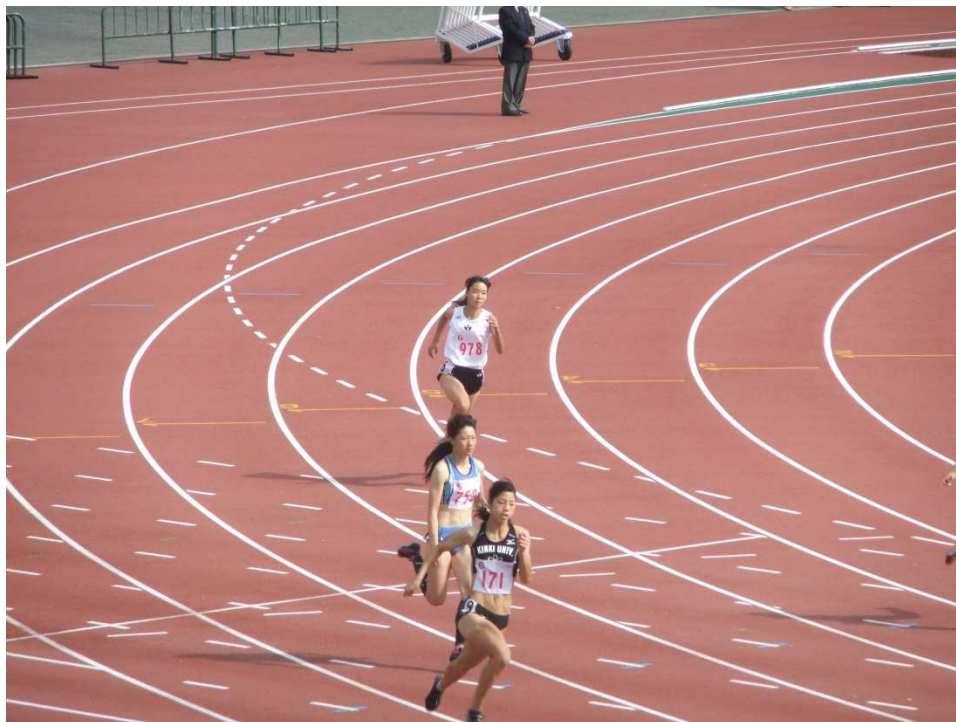
## 女子200m

難波真理(1) 予選 29" 11(+0.7)☆ 8着 歴代8位

宝徳奈津美(2) 予選 27" 33(-0.4) 7着

宝徳(2)はスタートから好調な走りを見せていたが、終盤までその走りを維持できず、関西 IC の標準記録まであと少しの所で手が届かなかった。難波(1)は大学初の大きな試合だったが、その硬さが走りに出ることはなく、惜しくも28秒台は出なかったが、歴代8位という好成績を残した。

文責 遠藤耀司(2)



200mを疾走する難波(1)〈一番奥〉

## 女子400m

宝徳奈津美(2) 予選 1' 02" 84 6着

宝徳(2)が出場した。雨と寒さという悪いコンディションの中、スタートしてから全体的に動きが硬かった。そのため前半で先頭に離されてしまい、後半追いつくことができなかった。冬季練習をしっかり積んで、来年の活躍に期待したい。

文責 中野友揮(2)

## 女子800m

関岡由希子(4) 予選 2' 36" 37 6着

関岡(4)は去年のこの試合以来、実に1年ぶりの800mとなった。就活でこの夏あまり練習を積めていなかったが、それを感じさせないほどの良いペースで集団についていった。ラスト200mで集団から離れてしまうが、力強いスパートを見せゴールした。

文責 小槻日出夫(2)

## 女子4×100mR

星合(1)-宝徳(2)-前田(1)-難波(1)

予選 54" 03 8着 歴代6位

雨が上がった直後で非常に寒い中でのレースとなったが、各選手ともにコンディションの悪さを感じさせない軽快な走りを見せた。1回生主体の若いチームであり、試合経験の少なさのためか、少し硬くなっている部分も見られたが、今後経験を積むことで改善点を見つけ、大幅な成長を遂げることが期待される。

文責 樫本涼(2)

## 女子4×400mR

星合(1)-宝徳(2)-難波(1)-関岡(4)

予選 4' 26" 62 6着 歴代3位

1走の星合(1)は自分の走りができず、他の選手に引き離されるという悔しい展開となった。2走の宝徳(2)は400m専門の意地をみせ、5位の選手にかなり近づいた。3走の難波(1)も粘りの走りを見せ、4走の関岡(4)にバトンをつないだ。関岡も果敢に飛ばすが前の選手には届かず、6着であった。メンバーとしては専門外の選手が多い中、府大歴代3位という好記録を出した。これからも活躍に期待したい。

文責 高尾信成(2)

## 女子走幅跳

前田玲美(1) 3m97(-0.4)☆ 26位 歴代10位

前田(1)は、今大会が初めての大きな試合であり、緊張が見て取れたが、練習跳躍・試技を重ねる内に雰囲気慣れたのか3本目で足が踏切板にきっちり合い、目標の4mには届かなかったが自己ベストを記録した。まだまだ伸び代を感じるので、これからの冬季にしっかり鍛え、更なる競技力向上に期待したい。

文責 大黒貴弘(2)

## 女子やり投げ

星合里香(1) 30m25 27位

やり投げ唯一の出場となった星合(1)は強雨という悪条件の中、果敢に好記録を目指すも2投目、3投目がファールとなり、思うような記録を残すことができなかった。本人も力んでしまったと語り、まだまだ本領を発揮できなかった様子であったので、これからの活躍に期待したい。

文責 高尾信成(2)

競技に参加して頂いたOBの北川さん、お忙しい中ありがとうございました。

### 3. その他の試合の結果

近畿選手権 9月8日～9日 西京極陸上競技場

#### 3000mSC

北川 拓哉(M1) 9' 39" 72

#### 走高跳

田中 英和(3) 2m03

#### 三段跳

山中 敬雄(4) 13m97

姫路選手権 9月15日～16日 姫路市陸上競技場

#### 100m

内賀嶋 陽史(3) 予選 11" 09  
準決 11" 21(-0. 1)  
前山 龍平(3) 予選 11" 11(+0. 1)  
準決 11" 12  
山中 敬雄(4) 予選 11" 43  
準決 DNS

#### 400m

高田 昌人(1) 予選 51" 45  
準決 50" 40  
決勝 50" 71 第5位  
川越 俊幸(2) 予選 52" 18  
松本 和也(M2) 予選 51" 59

#### 110mH

内賀嶋 陽史(3) 予選 14" 77  
決勝 15" 12(-3. 4)

#### 400mH

川越 俊幸(2) 56" 31 ☆

#### 走幅跳

大黒 貴弘(2) 6m67

山中 敬雄(4) 6m71

#### 三段跳

山中 敬雄(4) 14m76(+1. 6) 第2位



尼崎ナイター 9月1日 ベイコム陸上競技場

200m

松本 和也(M2) 24" 04(-0.6)

400m

松本 和也(M2) 51" 37

第6回京都陸協記録会 9月22日 西京極陸上競技場

100m

前山 龍平(3) DNS

800m

伊藤 駿(1) 1' 59" 75★

中野 友揮(2) 2' 01" 85

400mH

山口裕太(1) 56" 03★

小川 潤(3) 57" 24

第4回大体大競技会 9月22日 浪商学園陸上競技場

100m

倉本 惇嗣(1) 12" 03(+0.3)

早川 哲史(2) 11" 66(-1.7)

内賀嶋 陽史(3) 11" 26(-0.9)

奥野 照基(3) 11" 97(+1.2)

高原 裕樹(3) DNS

200m

島田 祥久(1) 24" 54(-0.4)

400m

藤原 吉司(1) DNS

110mH

内賀嶋 陽史(3) 14" 69(+0.9)

400mH

川越 俊幸(2) 59" 78

走高跳

片岡 裕(1) 1m80

渡部 翔太(4) 1m90

走幅跳

大黒 貴弘(2) 6m65(-0.4)

仲西 穂高(2) 5m96(-0.4)

兵庫秋季記録会 10月6日 ユニバー記念競技場

200m

内賀嶋 陽史(3) 22" 48(+0.6)☆

中野 智典(4) 22" 57(+0.6)

山中 敬雄(4) 22" 74(+1.2)

800m

伊藤 駿(1) 1' 59" 78

400mH

小川 潤(3) 56" 81

大体大競技会 10月13日 浪商学園陸上競技場

800m

中野 友揮(2) 1' 58" 80★

大阪マスタース記録会 10月20日 長居第二陸上競技場

100m

奥野 照基(3) 11" 94(-0.1)

仲西 穂高(2) 11" 83(-0.1)

400m

高原 裕樹(3) 57" 40

1500m

佐原 敏基(3) 4' 40" 25

走幅跳

保科 政幸(3) 6m15(+0.0)

仲西 穂高(2) 5m62(+0.8)

砲丸投

奥野 照基(3) 10m20

関西学生長距離強化競技会 10月21日 ベイコム陸上競技場

男子5000m

山下 翔平(4) DNS

高尾 信成(2) 17' 27" 08

佐原 敏基(3) 18' 35" 01

北川 直昭(2) 16' 21" 26☆

甲木 孝弘(4) 15' 37" 31

## 4. 今後の目標と反省

### 短距離パート

今年の夏は秋シーズンでしっかり結果を残すため練習を積んできました。夏合宿でも一人一人が自分の限界まで追い込めたと思います。9月に行われました六公立戦では女子の部は100m専門の選手がいないこともあり厳しい戦いとなりましたが、男子の短距離種目は完全勝利をおさめることが出来、夏の鍛錬の成果をきちんと発揮することが出来ました。また、10月末には関西個人選手権が行われました。今回から学年の枠も無くなり、例年よりさらにレベルの高い試合となりました。この試合では悪天候ということもあり、これと言った結果を残すことが出来ない者もいましたが、1, 2回生にはこの試合での経験を来シーズンに活かしてもらいたいと思います。次の代は短短パート長 早川哲史、短長パート長 川越俊幸の2人で短距離パートを引っ張っていきますので、これからも変わらぬご声援よろしくお願いします。

文責 短距離パート長 前山龍平(3)

### 中距離パート

夏の厳しい練習を経て、秋シーズンが本格的に始まりました。個人選手権では800mに中野・伊藤が、そして無条件枠を与えられている1回生の多くが1500mに出場しました。納得するレースが出来たという者は少ないように感じますが、このような大きな大会で得た経験を生かしてもらいたいと思います。さて、今回の大会でパート長が交代となり、新パート長中野が今後の中距離を引っ張っていきます。全員で競り合いながらこの冬季練を乗り越えて、一回りも二回りも成長して春を迎えたいと思いますので、変わらぬご声援のほどよろしくお願いします。

文責 中距離パート長 佐原敏基(3)

## 長距離パート

今回は長距離パートとして最大の目標であるびわ湖大学駅伝の予選会がありました。今年は昨年より本戦でのシードが2枠減ったため、上位の2校が増え、去年に比べて記録は上がったものの、順位は下がってしまいました。結果としては予選会の上位10校が本戦へ出場できる中で14位となり、予選を突破するには総合タイムで約8分、平均するとひとり1分タイムを縮める必要があります。ただ、今年は「経験の年」として出場しましたが、10人中7人が自己ベストをたたき出し、速いものでは去年に比べて3分以上のベストを更新していました。また、過半数が1、2回生の出場だったため、今年のメンバーのほとんどが来年の「勝負の年」に挑むことができるので、更なる大幅な記録向上が狙えます。しかし他校に比べると、絶対的なエースという存在がおらず、今年は最もレベルの高い最終7組に自信を持って送り出せる選手がいませんでした。これからの冬季練ではチーム全体の底上げだけでなく、トップレベルで戦える選手を作ること为目标に頑張っていきます。

最後になりましたが、忙しい中、応援に駆け付けてくださった OB・OG の皆さま、本当にありがとうございました。来年もパート長を務めるつもりですが、歴代で最も強い長距離を目指しますので、これからも応援よろしくお願ひします。

文責 長距離パート長 北川直昭(2)

## フィールドパート

六公立戦では、全種目で1位を取ることができ、層の厚さを実感しました。しかし、1位のうち2人、さらに対校の部に出場した8人のうち3人が4回生なので、来年への不安も少し残ります。

関西学年別選手権改め関西個人選手権では、高跳びの片岡(1)以外の選手が自分の実力を発揮できず悔しい思いをしました。これは関西規模以上の大舞台の経験の少なさと、プレッシャーに負けてしまった結果だと言えます。関西インカレなどの大きい大会で最高のパフォーマンスが出来ることになるのが、フィールドパートの一番の課題だと思います。私はこの大会でパート長の役目を終え、2回生の黒に引き継ぎました。これからは2回生の黒と仲西を筆頭にますます日々の練習に励むことと思います。来年度も変わらず暖かく見守っていただけたら幸いです。

文責 フィールドパート長 田中英和(3)

## 5. 連絡事項

- 12月16日(日)14時より、大阪府立大学 A5 棟講義室にて、OB 総会を開催いたします。
- 同日19時より、難波にて忘年会を開催いたします。詳細は後日報告いたします。
- 1月20日(日)に、第67回堺市民駅伝が行われます。

ご都合がよろしければ、ご参加のほどよろしく願いいたします。